

66作 FW208N + FT48D DB

nanba-kibi 作



ウーハーにFOSTEX FW208N、ツイーターに同 FT48Dを使った、ダブルバスレフスピーカーです。

方式そのものには独創的なアイデアなど皆無ですが、これまで小口径ユニットを使った自作の中で「やってみて良かった」あれこれを盛り込んでいます。



● 2つの空気室の仕切りには角度を付けて、天地方向に発生する定在波の緩和を目指しています。

● 床に伝わる振動がキャビネットに戻って音を濁す度合いを軽減するため、底板は2枚重ねとしています。

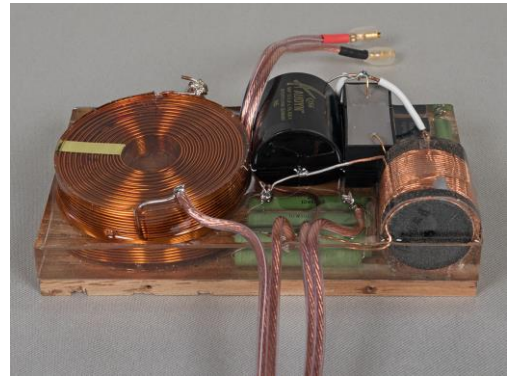
● ウーハー部は24mm厚のバッフルがユニット背面への音の放射を妨げないよう、取り付け穴の内側にテーパ加工を施しました。



● ツイーターのキャビネットは12mm厚のMDF10枚重ねで作り、剛性を高めました。



● ウーハーキャビ中に納められたネットワーク回路が音圧を受けて振動することのないよう、素子を2液性エポキシレジンでがっちりと固めています。



● エンクロージャーは幅をおさえて、空間表現能力の向上に努めました。

● ガタを出さないよう、足は3点支持にしています。



体力に自信が無い私が何とか持ち運べるよう、板厚は15mmのラワン合板（バッフルのみ12mmMDFの2枚重ね）にとどめ、補強材も控え目にしていますが、20cmユニットで作った作品としては十分とは言えません。

イベント会場での大音量再生に果たして耐えてくれるのだろうか、ドキドキハラハラしています。